

令和6年度 施策評価表（案） （令和5年度実績分）

【足立区子ども・子育て支援事業計画】

足立区教育委員会

子ども家庭部子ども政策課

はじめに

平成27年4月からスタートした「子ども・子育て支援新制度」に伴い、足立区においても第1期に引き続き、令和2年3月に「第2期足立区子ども・子育て支援事業計画」を策定いたしました。第1期の取り組みの成果や課題を踏まえ、「子育ての質の向上」と、支援が途切れないよう、「ライフステージ間のつながりの強化」を重要な視点とし、各計画とも連携しながら、切れ目のない支援による子育て環境の充実を目指し取り組んでいます。

第2期計画でも、令和6年度までに足立区が取り組むべき施策を定めるとともに、各年度毎に実績を評価していきます。

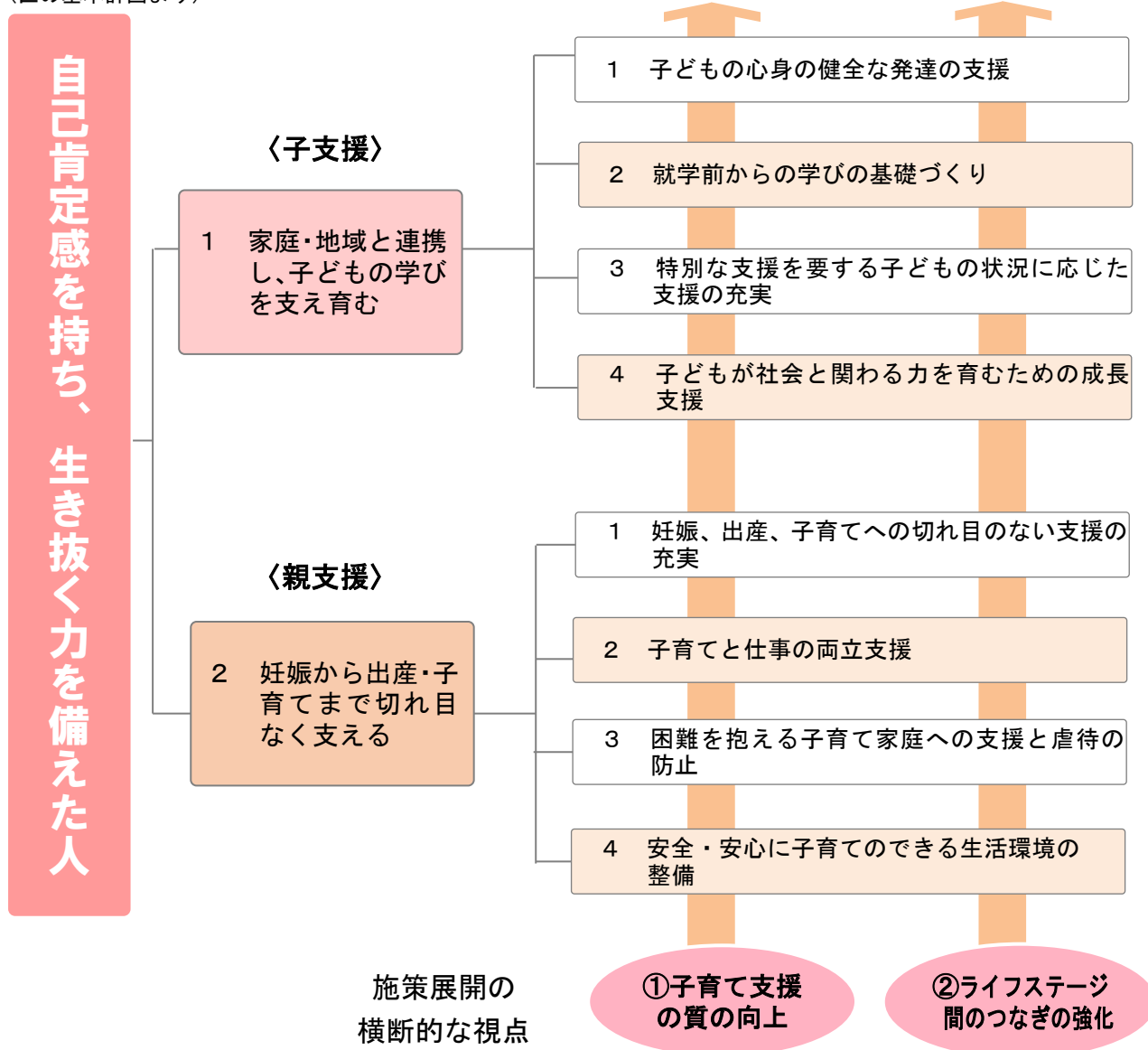
※計画の進捗状況の管理については、PDCA サイクルのもと対象事業の実施状況等について客観的かつ専門的な立場から意見交換、調査・審議を行います。

【子ども・子育て支援事業計画の体系】

[柱立て]
(区の基本計画より)

[施策群]

[施策]



●各施策別の総合評価一覧（兼 目次）

【施策群 1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む】

施策	成果指標	2次評価 (5点満点)	該当頁
1-1 子どもの心身の健全な発達の支援	早寝・早起き・朝ごはんを心がけるようになったと回答した方の割合	3.0	P 6
	1日3食、野菜（おかず・汁物など）を食べる幼児の割合		
	「親子で絵本を読む」と回答した方の割合		
1-2 就学前からの学びの基礎づくり	指導検査で「文書指摘」または「口頭指導」となった項目が、次の巡回訪問等の際に改善されていた保育施設等の割合	5.0	P 8
	基本的生活習慣が身についている小学校1年生の割合		
1-3 特別な支援を要する子どもの状況に応じた支援の充実	相談児童数のうち、関係機関と連携できた割合	5.0	P 10
	発達支援児の行動上の課題が軽減した割合		
1-4 子どもが社会と関わる力を育むための成長支援	アンケートで「新しいことを知ったり、チャレンジしたい」と思った子どもの割合	5.0	P 12
	あだち放課後子ども教室利用者満足度		

【施策群 2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える】

施策	成果指標	2次評価 (5点満点)	該当頁
2-1 妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援の充実	子育ては楽しいと感じる割合	4.0	P 14
	保育コンシェルジュへの相談が役にたった方の割合		
2-2 子育てと仕事の両立支援	保育需要に対する待機児童率【低減目標】	3.0	P 16
	学童保育室の待機児童率【低減目標】		
	「男女が対等な立場で意思表示や活動をすることができ、また責任を分かち合っている」と感じている区民の割合		
2-3 困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止	児童虐待解決率	3.0	P 18
	高等職業訓練促進給付金受給後の正規雇用者数		
2-4 安全・安心に子育てのできる生活環境の整備	ユニバーサルデザイン推進計画の個別事業の評価点の平均値【子ども子育てに関係する事業】	4.0	P 20
	よく行く、または行きたい公園がある区民の割合		

【評価の流れ】

1 次評価（自己評価） P.4・5

各事業の担当課にて、①「施策の手段として位置付ける主な事務事業の進捗状況の活動指標」および②「成果指標」の評価を実施。

①「施策の手段として位置付ける主な事務事業の進捗状況の活動指標」

- 目標値を設定し、評価する年度の実績値を記載。
- 施策への貢献度、今後の方針、実績が目標値に対してどの程度どのように達成されたかを分析し、【総合評価】（課長評価）に記載。

②成果指標

- 担当課において目標値を設定し、評価する年度の実績値を記載。施策評価、2つの視点「子育て支援の質の向上」「ライフステージ間のつながりの強化」を踏まえた今後の方向性を記載。



2 次評価（子ども家庭部による評価） P.4

① 重点プロジェクト事業の庁内ヒアリング（2次評価）に同席するなど、関連する事業についての情報を共有化。

② 各事業担当課による1次評価（自己評価）と上記①で共有化した情報などを踏まえ、子ども家庭部（子ども政策課）にて各事業の方向性等を以下の5段階で総合的に評価。

③ 評価点（5点満点） **5**（良い） ←————→ **1**（悪い）

※ただし5段階評価によりがたい場合には、中間点（例：4.5等）を設ける場合がある



3 次評価（外部評価）

1次、2次評価の内容について、足立区地域保健福祉推進協議会（子ども支援専門部会含む）にて委員から意見を聴取

施策【1-1】

1 施策の概要

担当課 子ども政策課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	1-1 子どもの心身の健全な発達の支援
施策の方向	食育や歯科健診の取り組み、読書習慣、運動遊びなど、子どもの心と体の基盤となる生活習慣づくりを推進します。

2 成果指標

指標 1	指標名	早寝・早起き・朝ごはんを心がけるようになったと回答した方の割合							
	定義	年1回取り組んだ保育園、保護者等に実施したアンケートで「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけるようになったと回答した方の割合 ※令和3年度から令和6年度の目標値を65%から75%に変更							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			65	65	73	90	90	目標
	実績値		-	68.3	72.2	88.2	84.2		75%
指標 2	達成率			105%	111%	121%	94%	0%	
	指標名	1日3食、野菜(おかず・汁物など)を食べる幼児の割合							
	定義	3歳児健康診査アンケートによる集計値(1日3食、野菜(おかず・汁物など)を食べると回答した件数/アンケートの回収件数)							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			33	36	39	42	45	目標
指標 3	実績値		28.7	28.8	28.2	27.5	26.2		45%
	達成率			87%	78%	71%	62%	0%	
	指標名	「親子で絵本を読む」と回答した方の割合							
	定義	4~5歳児を対象とした、生活・ベジタベアンケートで、「親子で絵本を読む」と回答した方の割合							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			76	77	78	79	80	目標
	実績値		75.5	77.1	79.5	80	78		80%
	達成率			101%	103%	103%	99%	0%	

1 次評価
(自己評価)

3 担当課における施策評価

【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつながりの強化
子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

施策の達成状況とその要因分析

【指標1】目標値を下回ったが、園や家庭で取り組んだことで、生活リズム定着の意識付けにつながっていると考えられる。一方で1年間取り組むことを負担に感じている保護者も多いため、

【指標2】実績値は横ばいで推移している中で、令和5年度は実績値が微減となった。1日3食、野菜を食べることの重要性は徐々に定着しているが、新型コロナウイルス感染症により、健康教室や健康相談等の開催を制限した影響が続いていると考える。

【指標3】実績値はほぼ横ばいである。イベント会場における絵本の出張貸出、保育園や児童館でのおはなし会の開催、綾瀬小学校「わくわく にこにこ 図書の日」での絵本の貸出、「あだち電子図書館」の蔵書拡大によって、絵本に親しむ機会が広がったと考えられる。

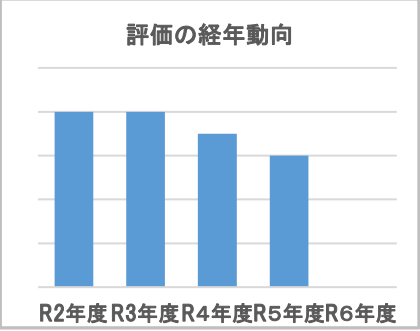
【指標1】引き続き、各園で行われているカレンダー(1年間版)・チェックブック(4週間版)の活用方法の紹介や使い方の工夫も含めた提案を行う。「早寝・早起き・朝ごはん」のリーフレットデザインを更新して、生活習慣定着の普及啓発を行っていく。

【指標2】新型コロナウイルス感染症の5類移行にともない、幼稚園や保育園向けの教室も徐々に再開している。引き続き野菜から食べるなど望ましい食習慣の定着を図っていく。

【指標3】図書館を利用しない人や読書に関心がない人に向けて、読書の楽しさを知る場を提供していくため、引き続き、効果的なアウトリーチ事業の実施方法を検討していく。さらに、「あだち電子図書館」の利用を促進し、子どもやその保護者が気軽に本に親しめる機会を増やしていく。

4 子ども家庭部における施策の評価

2次 評価 R5年度	①「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組みは、子どもの生活リズム定着の意識付けにつながっている。引き続き、普及啓発を行い、生活リズムの定着につなげてほしい。
3	②健康教室や健康相談等の開催を制限したことで、1日3食野菜を食べる幼児の割合が微減となった。今後は、幼稚園や保育園向けの教室を再開し、望ましい食習慣を定着させてほしい。
	③絵本の出張貸出や「あだち電子図書館」の蔵書拡大により、親子が絵本に親しむ機会を広がっている。引き続き、効果的なアプローチを行い、誰もが本に親しむ機会を増やしてほしい。



2 次評価
(子ども家庭
部による
評価)

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

	事業名	活動指標（単位）	定義		R2	R3	R4	R5	R6
1	①早寝・早起き・朝ごはんの推進【子ども政策課】	早寝・早起き・朝ごはんカレンダーの取り組み園数（園数）	「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組み園数 4、5歳児の在籍園 〈現状値内訳〉区立保育園・認定こども園30園、私立保育園112園、公設民営保育園15園、認証保育所11園、私立幼稚園・私立認定こども園50園、 《【 】内は対象園（全園）》	目標値	170	169	174	174	174
				実績値	223	221	218	217	217
				達成率	93%	96%	90%	72%	0%
2	②食育の推進事業【子ども施設指導・支援課】	「ひと口目は野菜から」の取り組み園数（園数）	「ひと口目は野菜から」の取り組み園数 4、5歳児の在籍園 〈現状値内訳〉区立保育園・認定こども園30園、私立保育園110園、公設民営保育園14園、認証保育所10園、私立幼稚園・私立認定こども園50園 《【 】内は対象園（全園）》	目標値	113	168	170	180	150
				実績値	221	221	218	218	201
				達成率	138%	99%	102%	97%	0%
3	③保健所での健康教育・食育の推進【保健予防課】	3～4か月児健康診査、育児学級、健やか親子相談の実施回数（回）	各保健センター等における乳幼児健康診査・育児学級及び住区センターにおける健やか親子相談の実施回数 《【 】内は参加者数》	目標値	638	641	644	647	650
				実績値	12,000	11,920	11,840	11,760	11,700
				達成率	206	237	472	555	
4	④あだちっ子歯科健診【子ども政策課】	歯科健診受診勧奨ハガキの送付者数（人）	初回の未通園者全員への歯科健診受診勧奨ハガキ送付及び未受診者に対する継続的な受診勧奨ハガキの送付等延べ送付人数 《【 】内は回数と対象者（送付人数）》 ※令和4年度より認可外保育施設集団健診開始のため、目標値の見直しを実施	目標値	1600	1900	1150	650	600
				実績値	1595	1742	1323	633	
				達成率	100%	92%	115%	97%	0%
5	⑤図書館のアウトリーチ事業【中央図書館】	実施回数（回）	図書館に來ない人・來られない人に対して実施した読書活動推進事業の回数 《【 】内は参加延べ人数》 ※令和4年度より読書活動推進事業の回数を、読み語りイベントだけでなく出張による特集展示や貸出などの回数を含めた	目標値	10	20	30	120	200
				実績値	360	720	1,080	2,000	2,500
				達成率	50%	50%	347%	213%	0%
6	⑥あだちはじめてえほん【中央図書館】	絵本を受け取った人数（1歳6か月児）（人）	1歳6か月児健診時に区内図書館等で絵本を引き換えた人数 《【 】内は全健診対象者》	目標値	3745	3745	3,800	3,850	3,900
				実績値	3120	2687	2,996	2875	
				達成率	83%	72%	79%	75%	0%

1 次評価
(自己評価)

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

施策群 1

家庭・地域と連携し、
子どもの学びを支え育む



施策【1-1】

1 施策の概要

担当課 子ども政策課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	1-1 子どもの心身の健全な発達の支援
施策の方向	食育や歯科健診の取り組み、読書習慣、運動遊びなど、子どもの心と体の基盤となる生活習慣づくりを推進します。

2 成果指標

指標1	指標名	早寝・早起き・朝ごはんを心がけるようになったと回答した方の割合							
	定義	年1回取り組んだ保育園、保護者等に実施したアンケートで「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけるようになったと回答した方の割合 ※令和3年度から令和6年度の目標値を65%から75%に変更							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			65	65	73	90	90	目標値
	実績値		-	68.3	72.2	88.2	84.2		75%
	達成率			105%	111%	121%	94%	0%	
指標2	指標名	1日3食、野菜(おかず・汁物など)を食べる幼児の割合							
	定義	3歳児健康診査アンケートによる集計値(1日3食、野菜(おかず・汁物など)を食べると回答した件数／アンケートの回収件数)							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			33	36	39	42	45	目標値
	実績値		28.7	28.8	28.2	27.5	26.2		45%
	達成率			87%	78%	71%	62%	0%	
指標3	指標名	「親子で絵本を読む」と回答した方の割合							
	定義	4～5歳児を対象とした、生活・ベジタベアンケートで、「親子で絵本を読む」と回答した方の割合							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			76	77	78	79	80	目標値
	実績値		75.5	77.1	79.5	80	78		80%
	達成率			101%	103%	103%	99%	0%	

3 担当課における施策評価

【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつながりの強化
子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

施策の達成状況とその要因分析

【指標1】目標値を下回ったが、園や家庭で取り組んだことで、生活リズム定着の意識付けにつながっていると考えられる。一方で1年間取り組むことを負担に感じている保護者も多々いる。

【指標2】実績値は横ばいで推移している中で、令和5年度は実績値が微減となった。1日3食、野菜を食べることの重要性は徐々に定着しているが、新型コロナウイルス感染症により、健康教室や健康相談等の開催を制限した影響が続いていると考える。

【指標3】実績値はほぼ横ばいである。イベント会場における絵本の出張貸出や、保育園や児童館でのおはなし会の開催、綾瀬小学校「わくわくにこにこ 図書の森」での絵本の貸出、「あだち電子図書館」の蔵書拡大によって、絵本に親しむ機会が広がったと考えられる。

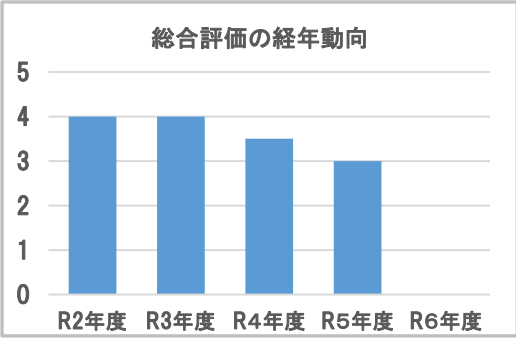
【指標1】引き続き、各園で行われているカレンダー(1年間版)・チェックブック(4週間版)の活用方法の紹介や使い方の工夫も含めた提案を行う。「早寝・早起き・朝ごはん」のリーフレットデザインを更新して、生活習慣定着の普及啓発を行っていく。

【指標2】新型コロナウイルス感染症の5類移行にともない、幼稚園や保育園向けの教室も徐々に再開している。引き続き野菜から食べるなど望ましい食習慣の定着を図っていく。

【指標3】図書館を利用しない人や読書に関心がない人に向けて、読書の楽しさを知る場を提供していくため、引き続き、効果的なアウトリーチ事業の実施方法を検討していく。さらに、「あだち電子図書館」の利用を促進し、子どもやその保護者が気軽に本に親しめる機会を増やしていく。

4 子ども家庭部における施策の総合評価

総合評価	3	①「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組みは、子どもの生活リズム定着の意識付けにつながっている。引き続き、普及啓発を行い、生活リズムの定着につなげてほしい。
R5年度		②健康教室や健康相談等の開催を制限したことで、1日3食野菜を食べる幼児の割合が微減となった。今後は、幼稚園や保育園向けの教室を再開し、望ましい食習慣を定着させてほしい。
		③絵本の出張貸出や「あだち電子図書館」の蔵書拡大により、親子が絵本に親しむ機会を広がっている。引き続き、効果的なアプローチを行い、誰もが本に親しむ機会を増やしてほしい。



施策を構成する主な事務事業の進捗状況

	事業名	活動指標（単位）	定義		R2	R3	R4	R5	R6	
1	①早寝・早起き・朝ごはんの推進 【子ども政策課】	早寝・早起き・朝ごはんカレンダーの取り組み園数 (園数)	「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組み園数 4、5歳児の在籍園 (現状値内訳)区立保育園・認定こども園30園、私立保育園112園、公設民営保育園15園、認証保育所11園、私立幼稚園・私立認定こども園50園、 《【】内は対象園(全園)》	目標値	170	169	174	174	174	
					【223】	【221】	【218】	【217】	【217】	
				実績値	158	162	156	126		
					【223】	【221】	【218】	【218】		
	達成率	93%	96%	90%	72%	0%				
2	②食育の推進事業 【子ども施設指導・支援課】	「ひと口目は野菜から」の取り組み園数 (園数)	「ひと口目は野菜から」の取り組み園数 4、5歳児の在籍園 (現状値内訳)区立保育園・認定こども園30園、私立保育園110園、公設民営保育園14園、認証保育所10園、私立幼稚園・私立認定こども園50園 《【】内は対象園(全園)》	目標値	113	168	170	180	150	
					【221】	【221】	【218】	【218】	【201】	
				実績値	156	167	174	175		
					【221】	【221】	【218】	【214】		
	達成率	138%	99%	102%	97%	0%				
3	③保健所での健康教育・食育の推進 【保健予防課】	3～4か月児健康診査、育児学級、健やか親子相談の実施回数 (回)	各保健センター等における乳幼児健康診査・育児学級及び住区センターにおける健やか親子相談の実施回数 《【】内は参加者数》	目標値	638	641	644	647	650	
					【12,000】	【11,920】	【11,840】	【11,760】	【11,700】	
				実績値	206	237	472	555		
					【4,257】	【3,819】	【5,758】	【5,885】		
	達成率	32%	37%	73%	86%	0%				
4	④あだちっ子歯科健診 【子ども政策課】	歯科健診受診勧奨ハガキの送付者数(人)	初回の未通園者全員への歯科健診受診勧奨ハガキ送付及び未受診者に対する継続的な受診勧奨ハガキの送付等延べ送付人数 《【】内は回数と対象者(送付人数)》 ※令和4年度より認可外保育施設集団健診開始のため、目標値の見直しを実施	目標値	1600	1900	1150	650	600	
					①【750】	①【750】	①【550】	①【650】	①【600】	
					②【850】	②【450】	②【650】			
						③【700】				
	実績値	1595	1742	1323	633					
		①【747】	①【658】	①【634】	①【633】					
		②【848】	②【367】	②【689】						
			③【717】							
	達成率	100%	92%	115%	97%	0%				
5	⑤図書館のアウトリーチ事業 【中央図書館】	実施回数(回)	図書館に來ない人・來られない人に対して実施した読書活動推進事業の回数《【】内は参加延べ人数》 ※令和4年度より読書活動推進事業の回数を、読み語りイベントだけでなく出張による特集展示や貸出などの回数を含めた	目標値	10	20	30	120	200	
					【360】	【720】	【1,080】	【2,000】	【2,500】	
				実績値	5	10	104	255		
					【576】	【620】	【1,645】	【9,355】		
	達成率	50%	50%	347%	213%	0%				
6	⑥あだちはじめてえほん 【中央図書館】	絵本を受け取った人数 (1歳6か月児)(人)	1歳6か月児健診時に区内図書館等で絵本を引き換えた人数 《【】内は全健診対象者》	目標値	3745	3745	3,800	3,850	3,900	
					【5,350】	【4,818】	【4,724】	【4,724】	【4,589】	
				実績値	3120	2687	2,996	2875		
					【5,350】	【4,818】	【4,724】	【3,921】		
	達成率	83%	72%	79%	75%	0%				
7	A	改善・変更	【総合評価】 (課長評価)	昨年度と比較してアウトリーチ事業の回数が増加し、より多くの区民に読書に触れる機会の提供を行うことができ、図書館に來ない人・來られない人に向けて、まちで本にふれ読書の楽しさを知る場所を提供することができた。ジェイヴェルデ大谷田では、本の交換会を年間を通して実施し、各地域図書館においては、おはなし会やワークショップ等を行った。						
				【総合評価】 (課長評価)						
				【総合評価】 (課長評価)						
				【総合評価】 (課長評価)						

施策への貢献度 A: 高い B: 中位 C: 低い

施策【1-2】

1 施策の概要

担当課 子ども施設指導・支援課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	1-2 就学前からの学びの基礎づくり
施策の方向	乳幼児期の教育・保育内容の質の向上により、小学校教育へつながる子どもたちの学びの基礎づくりを推進します。

2 成果指標

指標1	指標名	※1 指導検査で「文書指摘」または「口頭指導」となった項目が、次の※2 巡回訪問等の際に改善されていた保育施設等の割合							
	定義	(算出式) A÷B ※令和2年度から指標名の实地調査を巡回訪問等に変更 A:改善されていた保育施設等の総数 B:指導検査で「文書指摘」または「口頭指導」となった保育施設等の総数							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			100	100	100	100	100	目標値
	実績値		100	100	100	100	99	-	100%
達成率									
100%									
※1 指導検査 法令等に基づく指導 ※2 巡回訪問 指導検査で指摘等を受けた内容の確認や施設からの相談対応及び保育観察などの寄り添い支援									
指標2	指標名	基本的生活習慣が身についている小学校1年生の割合							
	定義	基本的生活習慣(挨拶や返事・姿勢良く座る・静かに話を聞く)が身についている1年生の人数÷1年生の児童総数 ※転出入を含む新1年生が対象のため、各年度90%を目標としていきます。							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			90	90	90	90	90	目標値
	実績値		90.6	88.4	86.9	87.8	89.8	-	90%
達成率									
98%									

3 担当課における施策評価

【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつながりの強化
子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

施策の達成状況とその要因分析

【指標1】令和4年度に指導検査を実施した113施設のうち85施設に対し「文書指摘」または「口頭指導」を発した。巡回訪問等において改善確認を行ったが、1施設が書類の修正を継続中のため、目標をわずかに下回った。

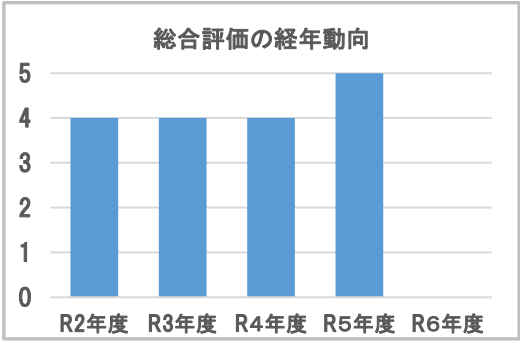
【指標2】4月に入学した小学校1年生の児童を対象に行ったアンケートでは、基本的生活習慣が身についている1年生の割合は89.8%であり、概ね目標どおりであった。小学校教員と就学前施設の保育者を対象に行う接続期教育研修会に加え、保育者に対して教育・保育力向上研修を31回実施し、幼保小連携活動の推進及び教育・保育内容の質向上を図った結果、子どもの学ぶ意欲が高まり、基本的生活習慣の獲得につながった。

【指標1】子どもたちがどの教育・保育施設に通っても、一定レベルの教育・保育サービスが受けられるよう、計画的に指導検査及び巡回訪問を実施し、施設に対しきめの細かい指導・支援を継続していく。

【指標2】今後も引き続き、子どもたちに必要な体験が実現できるように、接続期教育研修に加え、教育・保育力向上研修を実施し、周知していく。また、子どもたちが幼児教育から小学校教育へ滑らかな接続ができるよう、幼保小連携活動を推進し、互いの教育・保育の理解を深め、子どもの育ちにつなげていく。

4 子ども家庭部における施策の総合評価

総合評価	①計画的に実施している指導検査及び巡回訪問により、各施設の保育の質が保たれ、教育・保育サービスが提供されており、評価できる。引き続き、指導検査や巡回訪問による支援を行い、教育・保育の質の維持・向上に努めてほしい。
R5年度	②小学校1年生の基本的生活習慣は定着しつつある。接続期教育研修や教育・保育力向上研修の継続実施により、小学校教員や就学前施設の保育者の理解が深まり、子どもたちの基本的生活習慣に繋がっているといえる。引き続き、幼保小連携活動により、教育・保育互いの理解を深め、子どもの育ちに繋げてほしい。
5	



施策【1-2】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

事業名		活動指標（単位）	定義		R2	R3	R4	R5	R6	
7	①教育・保育の質の維持・向上事業【子ども施設指導・支援課】		子ども・子育て支援法に基づく指導検査または巡回訪問等を実施した特定教育・保育施設等の割合（％）	（算出式）A÷B A：当該年度に指導検査または巡回訪問のいずれかを実施した保育施設等の数（計355） B：保育施設等の数（計355） 《【 】内は保育施設等の数》	目標値	97 【333】	100 【332】	100 【350】	100 【347】	100 【371】
					実績値	100 【344】	99.7 【331】	99.7 【349】	100 【355】	—
					達成率	103% 【344】	99.7% 【331】	99.7% 【349】	100.0% 【355】	—
					施策への貢献度 今後の方針					
A	現状維持	【総合評価】（課長評価） 指導検査を143施設（私立認可56施設、小規模12事業所、家庭的保育50事業者、幼稚園・子ども園6施設、認可外2施設、認証17施設）で実施及び巡回訪問（私立認可113施設、小規模26事業所、家庭的保育97事業者、幼稚園・こども園15園、認証33施設、認可外26施設、区立直営園30園、公設民営15園）を実施。令和5年度から認証保育所に対する実地の指導検査を実施した。事故の確認等のための実地調査を含む巡回訪問は延べ665回実施し、教育・保育の質の維持・向上に努めている。令和6年度も計画的な実施に努めている。								
8	②就学前教育の推進【子ども施設指導・支援課】		年齢別研修のうち、集合研修（運動）の参加人数	年齢別研修のうち、集合研修（運動）への参加職員数（保育士、幼稚園教諭） 目標数＝参加職員数（※研修定員数の7割程度を想定） 《【 】内は定員数》	目標値	420 【600】	420 【600】	420 【600】	420 【600】	420 【600】
					実績値	355 【600】	367 【600】	350 【600】	290 【600】	—
					達成率	85% 【600】	87% 【600】	83% 【600】	69% 【600】	—
					施策への貢献度 今後の方針					
8	幼保小連携ブロック会議におけるあだち幼保小接続期カリキュラムの活用割合（％）		幼保小連携ブロック会議におけるあだち幼保小接続期カリキュラムの活用割合 《【 】内はブロック数》 ※令和3年度からブロック会議に交流活動含む	目標値	100 【13】	100 【13】	100 【13】	100 【13】	100 【13】	
				実績値	0 【13】	100 【13】	100 【13】	100 【13】	—	
				達成率	0% 【13】	100% 【13】	100% 【13】	100% 【13】	—	
				施策への貢献度 今後の方針						
A	改善・変更	【総合評価】（課長評価） 年齢別の集合研修（運動）の参加人数は、290人と達成率は69％であり、他の研修（担任研修等）より参加人数が少なかった。運動あそびとは、何かができることを目的とするのではなく、子どもが様々なことに意欲を持って挑戦する力を育むために、保育者が援助したり、環境を準備したりする基本的なことを伝えていく必要性がある。そのため、運動あそびモデル事業を通して学識経験者（日本体育大学）と作成する指導案を基に、研修を通して周知していく。幼保小接続期カリキュラムの活用については、全13ブロックの中で子どもの姿と合わせながら、活用することができた。								

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

施策【1-3】

1 施策の概要		担当課	支援管理課
柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人		
施策群	1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む		
施策	1-3 特別な支援を要する子どもの状況に応じた支援の充実		
施策の方向	発達障がいなど様々な悩みや課題を抱える子どもたちが、それぞれの特性に応じた支援が受けられるように、支援体制を充実します。		

2 成果指標

指標1	指標名	相談児童数のうち、関係機関と連携できた割合							
	定義	支援管理課で相談を受けた児童の特性を捉え、保護者同意のもと、必要に応じ関係機関と連携ができた割合 (相談連携件数÷連携が必要な相談件数)							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			97	98	98	98	98	目標値
	実績値		90	97	98	98	98		98%
	達成率			100%	100%	100%	100%	0%	
指標2	指標名	発達支援児の行動上の課題が軽減した割合							
	定義	前年度に引き続き発達支援委員会で判定を受けた児童の内、保育現場での配慮を行ったことで、支援の程度が軽減若しくは現状維持したと判定された児童の割合 (支援軽減・維持人数÷継続支援児童数)							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			95	95	96	96	95	目標値
	実績値		89	95	96	97	91		95%
	達成率			100%	101%	101%	95%	0%	
指標3	指標名								
	定義								
	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値								目標値
	実績値								
	達成率								

3 担当課における施策評価

施策の達成状況とその要因分析		子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性
【指標1】来所相談以降も相談員による定期的なフォロー電話や必要に応じた面接を行い、保護者の不安軽減に努めたことで適切な支援機関に繋げることができた。保護者の同意のもと、関係機関とも連携を図ることで、関わり方の手法を伝えることにも努めた。 【指標2】専門職（心理士、作業療法士、言語聴覚士）と保育者として連携し、児童の発達特性に応じた対応を行うことで、問題行動の軽減に繋がっており、90%以上を保っている。個別相談時に比べ集団での適応の難しさが見られる児童が増えていると考える。		【指標1・2】相談件数が増加に伴い、タイムリーに相談対応できるよう相談体制を充実していく。発達支援委員会で判定を受けた児童に対し、区立保育園だけでなく公設民営保育園、私立保育園等にも個別支援計画（園生活支援シート）の作成を確認できた。 個別支援計画（園生活支援シート）は児童の発達特性に応じた関わり方につながる重要なものである。研修で作成方法の具体的手順を伝え、児童の発達特性に応じた支援の手法を保育者と保護者とで確認することができた。今後も関係機関と連携し、支援を継続していくことで、児童の困り感を軽減していく。

4 子ども家庭部における施策の総合評価

総合評価	①保護者が来所相談した後も相談員が定期的なフォローを行っていることで、保護者の不安が軽減し、適切な関係機関につなぐことができています。関係機関との連携は、子どもへの支援につながることから、今後も丁寧な対応で保護者の理解を得て、関係機関につなげてほしい。	
R5年度	②保育者が子どもの発達特性に応じた関わりにつながる個別支援計画(園生活支援シート)の作成方法を学ぶことで、保育者が子どもとの関わりを理解し、保護者に適切に伝えることができています。引き続き、保育者の理解を深め、子どもの発達特性にあった支援を行ってほしい。	
5		

総合評価の経年動向

年度	総合評価
R2年度	5
R3年度	4
R4年度	5
R5年度	5
R6年度	5

施策【1-3】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

	事業名	活動指標（単位）	定義		R2	R3	R4	R5	R6
9	①発達支援児の早期発見・早期支援の取り組み【保健予防課】	3歳児健康診査実施回数(回)	各保健センター等における3歳児健康診査の実施回数 《【 】内は受診者数》	目標値	125 【5,000】	125 【4,870】	125 【4,730】	125 【4,600】	125 【4,460】
				実績値	114 【4,684】	101 【3,925】	136 【5,042】	125 【4,159】	
				達成率	91%	81%	109%	100%	0%
				施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	新型コロナウイルス感染症の5類移行前でも、3歳児健康診査を継続したため、実施回数は目標を達成したが、受診率は95.2%で昨年度から減少した。3歳児健康診査は、法定の健診として発達に課題のある子どもを早期・確実に発見し、つないでいく重要な役割を果たしている。		
	A	現状維持							
10	②乳幼児経過観察健康診査・乳幼児療育指導【保健予防課】	乳幼児経過観察健康診査実施回数(回)	各保健センター等における乳幼児経過観察健康診査の実施回数 《【 】内は受診者数》	目標値	78 【776】	78 【782】	79 【788】	79 【794】	80 【800】
				実績値	65 【435】	63 【390】	73 【452】	76 【459】	
				達成率	83%	81%	92%	96%	0%
				施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	新型コロナウイルス感染症の5類移行前でも、乳幼児経過観察健康診査を継続したため、実施回数及び受診者数は増加している。こども支援センターげんきと連携し、心身の発育・発達などに不安のある乳幼児の相談事業にげんきの心理士の派遣を行っている。心理相談や療育相談の結果から、継続的に関わることで保護者の受け止めや理解を促し、適切な支援につないでいる。		
	A	現状維持							
11	③発達支援児の総合的な支援【支援管理課】	相談児童数(人)	こども支援センターげんきへの来所・電話相談、保健センターでの相談、就学前施設での相談(巡回指導、発達支援相談、4歳児対象の気づきのしくみの相談)で受理した児童の延べ人数	目標値	4,320	4,300	4,300	4,300	4,300
				実績値	4255	4273	4469	5885	
				達成率	98%	99%	104%	137%	0%
				施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	専門職を派遣している保健センターの子ども相談、就学前施設での相談、4歳児対象の気づきのしくみでの個別相談により、保護者の子育て不安に対し具体的な助言ができ、来所相談にも繋げることができた結果、発達支援事業全体としての相談件数の増加に繋がった。必要に応じ、保護者の同意のもと就学先や関係機関との連携を図ることができた。		
	A	現状維持							
12	④従事職員のスキルアップ研修【支援管理課】	実施回数(回)	講座実施回数 《【 】内は延べ参加者数》	目標値	10 【800】	12 【1,100】	12 【1,100】	12 【1,100】	10 【900】
				実績値	10 【1,066】	12 【888】	12 【1,081】	12 【626】	
				達成率	100%	100%	100%	100%	0%
				施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	受講者数の減少については、他自治体主催やオンライン研修などの開催も増加し受講スタイルの選択肢が増えていることも要因となっている。(足立区以外の主催研修で受講修了した方も増加している) 今後は講義内容について、より保育現場に活用できるものを講師と協議しながら設定いく。		
	B	縮小							

施策への貢献度 A: 高い B: 中位 C: 低い

施策【1-4】

1 施策の概要

担当課 青少年課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	1-4 子どもが社会と関わる力を育むための成長支援
施策の方向	家庭や地域と連携しながら、様々な学び、体験の場を広げ、子どもたちが自らの可能性を見つけ、伸ばしていけるよう支援します。

2 成果指標

指標1	指標名	アンケートで「新しいことを知ったり、チャレンジしたい」と思った子どもの割合							
	定義	体験教室に参加した子どもや来館した子どもへのアンケートで「今回の体験をとおして、これからも新しいことを知ったり、チャレンジしたいと思った」と回答した子どもの割合 [青少年課体験教室の参加割合とギャラクシティ体験活動の参加割合の平均]							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			90	90	90	90	90	目標値
	実績値		-	88	82	87	87.4	-	90%
	達成率			98%	91%	97%	97%	-	
指標2	指標名	あだち放課後子ども教室利用者満足度							
	定義	参加児童に対するアンケート調査で、放課後子ども教室に参加することが「楽しい」「少し楽しい」と答えた児童の割合							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			99	99	99	99	99	目標値
	実績値		99	99	99	99	99	-	99%
	達成率			100%	100%	100%	100%	-	

3 担当課における施策評価

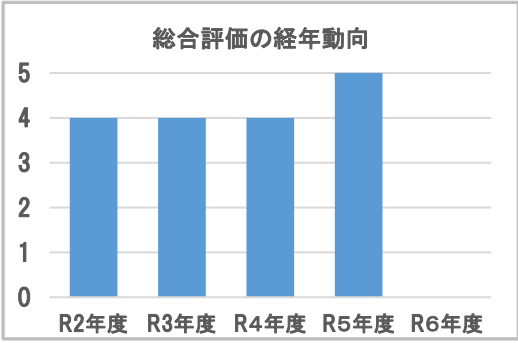
【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつなぎの強化
子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

施策の達成状況とその要因分析	
【指標1-ギャラクシティ体験活動】体験や学びの事業に参加した子どもたちの意見をもとに、ニーズを捉え事業を展開したことにより、前年の実績を上回った。 【指標1-体験教室】各大学の特色を活かした講座を開催し、すべての講座で大学生と児童・生徒と一緒に参加者に大学の授業や雰囲気などの体験機会の提供を行ってきた。一方、担当する教授の専門性に合った講座を実施していることから、担当教授の退任などにより、講座の継続が困難になる事例が発生している。 【指標2】これまでと同様、高い満足度を示している。児童からは、家や学校でやったことのない遊びができた(55.5%)、体を動かして遊べた(55.5%)、本を読んだり宿題をすることができた(38%)などの理由があがっており、遊び方の工夫などに取組んだ成果と考える。	

【指標1-ギャラクシティ体験活動】子どもたちが体験を通じて、文化芸術に関心を持ち、自己肯定感を高められる事業を実施するとともに、Gがくえんなど小学生から高校生までの、それぞれのライフステージに対応した学び、体験の場を提供していく。 【指標1-体験教室】大学の特色を踏まえつつ、参加者アンケートなどをもとに、児童・生徒のより興味・関心が高い分野での講座の実施を大学側と協議する。また、これまでできなかったことを目的とした講座がほとんどであったことから、一歩進んだ専門性が高い内容の講座も検討する等、実施講座のより一層の質の向上を図っていく。 【指標2】児童の健やかな成長と学びのため、地域の方々の協力を得ながら放課後の安全・安心な居場所を提供していく。また、児童の自己肯定感を高めるため、引き続き体験・交流活動の機会を増やすとともに、内容の充実を図っていく。	
--	--

4 子ども家庭部における施策の総合評価

総合評価	5	①ギャラクシティの体験教室は、ニーズを捉えた事業展開を行っていること、また大学連携事業でも、各大学の特色を活かすとともに授業の雰囲気味わえる講座等を提供してきたことが参加している子どもの意欲が育まれ、評価できる。今後もニーズを捉えた取り組みを行うとともに、一歩進んだより専門性の高いプログラムの提供を期待する。
R5年度		②対象学年の拡充や、体験プログラムを増やすことで、放課後子ども教室に参加した子どもの満足度は高くなっており、評価できる。今後も充実した体験や交流活動の機会を提供し、子どもが社会と関わる力を育むための支援を続けてほしい。



施策【1-4】

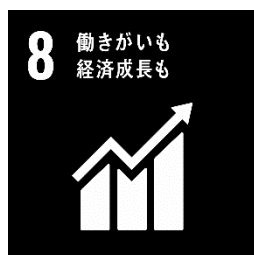
施策を構成する主な事務事業の進捗状況

	事業名	活動指標（単位）	定義		R2	R3	R4	R5	R6
13	①体験活動（大学連携事業）の推進【青少年課】	大学連携によるプログラムの提供回数（回）	青少年課の大学連携事業の全プログラムの提供数 《【 】内は参加した子どもの延べ人数》	目標値	26 【15,000】	27 【15,000】	27 【15,000】	29 【15,000】	16 【11,400】
				実績値	11 【18,998】	23 【7,134】	29 【9,396】	15 【11,376】	-
				達成率	42%	85%	107%	52%	-
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】（課長評価） 令和4年度の結果を踏まえ、体験活動の講座数や体験活動時間を増やすなど、体験機会の拡充を図ったが、一方で担当教授の退任と後任者の不在、申込がなかったことにより、予定していた講座の一部が実施できず、目標に満たなかった。参加者アンケート等をもとに、事業内容を見直す等、児童・生徒のより興味・関心が高い分野での講座の実施を引き続き大学側と協議していく。						
14	②ギャラクシティでの多様な体験活動の提供【地域文化課】	イベント・ワークショップ実施回数（回）	イベントや日々のワークショップ実施回数 （目標値）基本協定で締結しているワークショップの最低実施回数 《①【 】内は、上記のうち地元企業やボランティアとの協働による企画数》 《②【 】内は延べ総参加者数》	目標値	2,200 ①【320】 ②【150,000】	1,600 ①【230】 ②【108,000】	1,600 ①【230】 ②【108,000】	1,800 ①【260】 ②【122,000】	3,000 ①【360】 ②【160,000】
				実績値	734 ①【31】 ②【11,204】	1653 ①【179】 ②【48,235】	2809 ①【219】 ②【92,956】	2486 ①【199】 ②【111,710】	-
				達成率	33%	103%	176%	138%	-
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】（課長評価） 事業開催数に関係なく、事業への参加者数が増加したことにより総参加者数はコロナ禍以前の人数に戻りつつある。ギャラクシティでは大ひょうげん、こどもおしごとらんど、ジャパンフェスタがメイン事業であるが、令和5年度は2回目の開催となった鉄道ミュージアムスペシャルが大盛況で目玉事業になりつつある。全体を通して様々な学びや体験の機会を子どもたちに提供した。						
15	③あだち放課後子ども教室【青少年課】	学校・実行委員会との話し合いの回数（回）	実施内容の拡充（対象学年拡大・体験プログラム実施等）に向けた話し合いの回数	目標値	240	240	240	240	240
				実績値	151	265	221	234	-
				達成率	63%	110%	92%	98%	-
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】（課長評価） 生涯学習振興公社より、積極的に全学年・週5日実施へ戻す方策および体験プログラムの実施についての話し合いを求め、目標達成に近づいた。全学年実施校数や体験プログラム実施校数の増といった実施内容の拡充につながっている。						
16	④ジュニアリーダーの育成【青少年課】	子ども会のリーダーを育成する研修会の開催回数（回）	小学4年～6年生を対象としたジュニアリーダー研修会の開催回数 《【 】内は参加者数》	目標値	66 【600】	66 【600】	48 【480】	48 【310】	53 【650】
				実績値	14 【203】	20 【64】	50 【303】	46 【290】	-
				達成率	21%	30%	104%	96%	-
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】（課長評価） 大雨による避難所開設のため、中止となった会場があり、目標には届かなかった。令和4年度より、会場数を精査（22→16）することで、1会場あたりにおける講師・助手、JLスタッフ数を充実させることができ、スーパー研修会とともに、効果的な研修の実施に結びつけることができた。						

施策への貢献度 A: 高い B: 中位 C: 低い

施策群 2

妊娠から出産・子育てまで
切れ目なく支える



施策【2-1】

1 施策の概要

担当課 幼稚園・地域保育課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2-1 妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援の充実
施策の方向	・子育て支援を充実し、安心して妊娠、出産、子育てができるよう、切れ目のない支援を行います。 ・子育てサービスを適切・円滑に利用できるよう、親子の居場所や交流の場などの情報提供や、悩みの相談環境の充実を図ります。

2 成果指標

指標1	指標名	子育ては楽しいと感じる割合							
	定義	各保健センター等での3～4か月児健康診査時に行うアンケートで、「子育ては楽しい」と答えた親の割合							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			75	75	75	75	75	目標値
	実績値		71.6	74.6	73.5	75.5	74.7		75%
	達成率			99%	98%	101%	100%	0%	
指標2	指標名	保育コンシェルジュへの相談が役にたった方の割合							
	定義	保育コンシェルジュへ相談した方に対するアンケートで、相談が役にたったと答えた方の割合							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			97	97	97	97	97	目標値
	実績値		—	98	100	100	98		97%
	達成率			101%	103%	103%	101%	0%	

3 担当課における施策評価

【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつなぎの強化
子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

施策の達成状況とその要因分析

【指標1】実績値はほぼ横ばいで推移しているが、目標をほぼ達成した。訪問や電話相談、乳幼児健診などの事業を通じて、不安やストレスを抱える母親へのきめ細やかな支援を強化している。

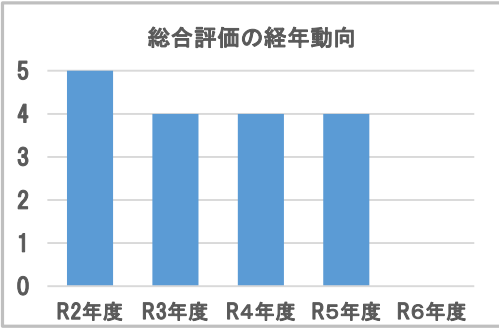
【指標2】オンライン説明会の開催数を増やすと共に、区LINE公式アカウントに保育施設検索機能を追加することで、自宅で保活ができるようオンラインサービスの拡充に努めた。窓口では一人ひとり丁寧に応じたことで、利用者から高い評価を得られている。

【指標1】全妊産婦が対象となる「スマイルママ面接」、「あだち出産・子育て応援事業」、「ファーストバースデーサポート」を着実に実施する。さらにハイリスク妊産婦への寄り添った支援を継続し、必要に応じ関係機関につなぐなど早期対応を適切に行う。支援が必要な母親に対しては、より手厚い支援を提供していく。

【指標2】保育コンシェルジュ事業の認知度向上を図るため、しょうぶまつり等のイベントに出展するなど広報活動を強化する。引き続きオンライン説明会を開催し、説明会参加をきっかけにして、個別相談（区役所、オンライン、子育てサロン）につないでいく。

4 子ども家庭部における施策の総合評価

総合評価	R5年度	4	①全妊産婦を対象とした「スマイルママ面接」などの取り組みや、ハイリスク妊産婦への寄り添ったきめ細やかな支援を行っている。妊産婦の負担軽減のための産前・産後家事支援事業などを積極的に活用してもらえるよう、普及啓発を強化してもらいたい。
			②オンライン説明会を増やしたり、区LINE公式アカウントに保育施設検索ができる機能を追加するなど、利便性を図ったことが利用者の満足度につながっている。今後も、サービスの円滑な利用促進と相談環境の充実を図ってもらいたい。



施策【2-1】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

	事業名	活動指標（単位）	定義		R2	R3	R4	R5	R6
17	①妊婦健康診査【保健予防課】	妊婦健康診査受診回数（回）	母子健康手帳交付時に配付する14回分の受診票の使用回数（里帰り等による助成の回数を含む）	目標値	61,120	61,290	61,460	61,630	61,800
				実績値	53,219	51,935	50,301	48,634	
				達成率	87%	85%	82%	79%	0%
				【総合評価】（課長評価）	妊婦届出数の減少により、妊婦健康診査の受診回数は減少傾向が続いている。平均受診回数は、11.2回と令和4年度の回数を下回った。妊婦届出時の妊婦全数面接や妊婦訪問時に保健師等が、妊娠中に必要な健診回数をきちんと受診することの大切さを伝えている。妊婦健康診査は、胎児の発育状態の確認や母体の異常を早期発見するために大変重要なものである。				
18	②ファミリー学級【保健予防課】	ファミリー学級学級数（数）	ファミリー学級の年間開催学級数（平日、土曜日、日曜日） 《【 】内は参加者数（実人数）》	目標値	108	108	108	110	110
				実績値	56	44	76	93	
				達成率	52%	41%	70%	85%	0%
				【総合評価】（課長評価）	新型コロナウイルス感染症の影響により、各保健センター等では、土曜1日制と平日2日制となった。さらに、委託による日曜1日制を実施している。パートナーが参加しやすく、赤ちゃんとの生活を一緒に体験し気持ちを共有できる1日制の人気は高い。引き続きニーズの把握に努め、周囲の理解やサポートにつなげていく。				
19	③妊産婦家庭訪問事業【保健予防課】	妊娠時から生後3か月までの支援対象者への訪問件数（件） ※要支援者対象	妊娠届で把握した特に支援が必要な妊産婦に訪問を実施した件数 《【 】内は対象訪問件数（特に支援が必要な妊産婦×訪問4回）》	目標値	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
				実績値	1,658	1,513	1,625	1,678	
				達成率	92%	84%	90%	93%	0%
				【総合評価】（課長評価）	妊娠届及びアンケートの内容から支援が必要な妊産婦を把握し、保健師や助産師が訪問や面接・電話などできめ細やかに妊産婦への指導や相談・助言を行っている。令和5年度の特に支援が必要な妊産婦は376人で、4回の訪問を行った。ハイリスク妊産婦の支援を強化しつつ、妊婦全数面接等により全妊産婦の状況を把握し、育児不安等を軽減できるよう支援していく。				
20	④こにちは赤ちゃん訪問事業【保健予防課】	こにちは赤ちゃん訪問事業訪問件数（件） ※全家庭対象	当該年度に出生した訪問希望者に対するこにちは赤ちゃん訪問で保健師・助産師が訪問指導した件数 《【 】内は希望件数》	目標値	4,260	4,130	4,080	4,000	3,900
				実績値	3,558	3,626	3,562	3,936	
				達成率	84%	88%	87%	98%	0%
				【総合評価】（課長評価）	新型コロナウイルス感染症に関わらず、訪問希望者に対する訪問率は例年高い割合を維持してきた。訪問を希望されない方には、電話による相談を実施しフォローした。乳児の発育状況と生活状況の把握に加え、コミュニケーションツールとしてエジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）を活用し、産後うつ等によりやすい時期に相談にのることで母親の育児不安解消と虐待の未然防止に努めた。				
21	⑤乳幼児健康診査【保健予防課】	乳幼児健康診査実施回数（回）	各保健センター等における乳幼児健康診査の実施回数 《【 】内は受診者数》	目標値	410	410	410	410	410
				実績値	312	328	423	404	
				達成率	76%	80%	103%	99%	0%
				【総合評価】（課長評価）	新型コロナウイルス感染症の5類移行前でも、各保健センターでは、乳幼児の健康診査を継続した。それぞれの乳幼児の健康診査は例年受診率も高く、乳幼児の発育・発達状況確認、疾病や異常の早期発見のほか、母親の育児不安の軽減など、総合的な健診の場として重要な役割を果たした。				
22	⑥産前・産後家事支援事業【子ども政策課】	年間延べ訪問件数（件）	産前・産後家事支援事業の年間延べ訪問件数	目標値	450	520	1,000	1,300	1,300
				実績値	520	1,084	1,308	1,026	
				達成率	116%	208%	131%	79%	0%
				【総合評価】（課長評価）	令和3年度以降、毎年度1,000件以上の訪問実績があり、対象世帯の需要に一定程度対応できているものの、目標達成には至らなかった。支援対象者が、「産前6週から産後3か月までの妊産婦」と限られているため、支援が必要な世帯に適切なタイミングで情報を届ける必要がある。案内チラシや子育てガイドブックの配布、SNSを活用した情報発信を引き続き行い、事業のPRに努め、利用につなげていく。				
23	⑦子育てサロン【住区推進課】	イベント回数（回）	年間イベント（絵本読み聞かせ・親子ふれあい遊び・ベビーマッサージ等）実施回数 《【 】内、①は参加者総数、②は①の内、男性参加者数》	目標値	2,620	2,640	2,660	2,680	2,700
				実績値	1,132	2,122	4,559	5,093	
				達成率	43%	80%	171%	190%	0%
				【総合評価】（課長評価）	新型コロナウイルス感染症が収束し、要望に応じてイベントを増やした。さらに「あかちゃんず」の実施サロンを拡大し、0歳児を対象としたイベントを増やしたため、目標値を大きく上回った。イベントの参加者数も平均9人から11人に増えたため参加者数も目標値を達成することができた。				
24	⑧保育コンシェルジュ【幼稚園・地域保育課】	保育コンシェルジュ相談延べ人数（人）	保育コンシェルジュ相談延べ人数 《【 】は保育サービス以外の相談件数、令和3年2月から開始》	目標値	3,150	2,600	3,000	3,850	3,991
				実績値	2,343	2,793	3,750	4,120	
				達成率	74%	107%	125%	107%	0%
				【総合評価】（課長評価）	オンライン説明会を年35回開催（前年度比4回増）したことで、オンライン説明会参加者が944人（前年度比300人増）となった。オンライン相談や子育てサロン等の出張相談の利用者数も堅調に増加しており、事業全体の利用延べ人数は4,120人（前年度比370人増）と平成27年度の事業開始以来、初めて4,000人を上回った。				

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

施策【2-2】

1 施策の概要

担当課 保育・入園課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人		
施策群	2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える		
施策	2-2 子育てと仕事の両立支援		
施策の方向	・多様な働き方を背景とした保護者の保育ニーズに応じた教育・保育サービスを確保します。 ・多様な働き方を可能とするため、パートナーの積極的な家事・育児参加の意識を醸成します。		

2 成果指標

指標1	指標名	保育需要に対する待機児童率【低減目標】							
	定義	待機児童数÷保育需要数(各保育施設等の利用児童数+待機児童数) ※4月1日現在							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			0	0	0	0	0	目標値
	実績値		0.89	0	0.01	0	0.04		0%
	達成率			100%	99%	100%	99%		
指標2	指標名	学童保育室の待機児童率【低減目標】							
	定義	待機児童数÷入室申請者数 ※4月1日現在							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			0	5.8	3	3	3	目標値
	実績値		5.1	6.1	3.7	4.4	4.8	-	0%
	達成率			0%	157%	68%	63%	-	
指標3	指標名	「男女が対等な立場で意思表示や活動を行うことができ、また責任を分かち合っている」と感じている区民の割合							
	定義	「足立区政に関する世論調査」							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			40	40	40	45	50	目標値
	実績値		31	31	34	30	27	-	50%
	達成率			78%	85%	75%	60%	-	

3 担当課における施策評価

施策の達成状況とその要因分析

【指標1】「足立区待機児童解消アクション・プラン」に基づき 平成27年度から6年間で4,352人分の保育定員を拡大した結果、令和3年4月には待機児童を解消して以降、待機児童がほぼゼロの状態を継続している。

【指標2】民設学童保育室の誘致や小学校改築に合わせた学童保育室整備により受入可能数は増加したが、申請数が大きく増加したことにより待機児童率もやや増加しており、目標値には届いていない。

【指標3】令和5年度は3ポイント減少し、目標値とは乖離がある。世論調査では、「わからない」と回答した区民が前年度より2.1ポイント増加した。社会的出来事がなかったこともあり、男女共同参画を意識する機会が少なかったと考えられる。

【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつなぎの強化

子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

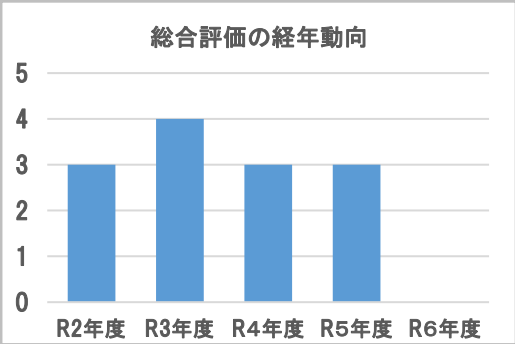
【指標1】引き続き、地域ごとの保育ニーズを詳細に分析し、人口推計、妊娠届出時の意向調査結果等を踏まえ、保育需要数を見極めながら適切なサービス供給量の確保に努める。

【指標2】「学童保育室整備計画」に基づき、学童保育室が不足するすべての地区に対して整備を実施し、令和7年4月1日時点での待機児童解消を目指していく。また、待機児童に対する居場所として、児童館特例利用の活用を促していく。

【指標3】子どもの成長や家庭の状況に応じた男性の家事・育児参加を支援する講座の実施やイベントでの啓発を通じ、男女が責任を分かち合う意識づけを行い、積極的な家事・育児参加を促していく。

4 子ども家庭部における施策の総合評価

総合評価	R5年度	①保育施設の待機児童率はほぼ目標を達成し、待機児童は解消していることは、大いに評価できる。今後も保育需要数を見極め、適切な保育定員を確保・維持してもらいたい。
		②学童保育室は申請数が大幅に増加し、新規整備を行ったものの、待機児童率は微増となり、いまだ待機者が出ている。子育て世帯に対する支援のため、事業者が参入しやすいよう補助等の見直しを検討しながら、不足する地区への整備を早急に行ってほしい。
3		③「固定的な性別による役割分担の意識」はいまだ解消されていない。誰もが働き続けられる環境をつくるために、当事者だけでなく、地域の人々の意識づけが重要である。今後はより積極的に周知や啓発を行い、人々の意識を醸成してほしい。



施策【2-2】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

	事業名	活動指標（単位）	定義		R2	R3	R4	R5	R6
25	①保育施設等の整備 【私立保育園課】	保育施設整備数（累計件）	令和2年～6年度における、認可保育所、認証保育所、小規模保育の新規整備及び定員見直しを伴う改修等の実施件数 ※「足立区待機児童解消アクション・プラン（令和元年8月改定版）」に基づく整備予定件数	目標値	0	3	3	5	5
				実績値	1	4	4	5	－
				達成率	0%	133%	133%	100%	－
				【総合評価】 （課長評価）	令和5年度においては老朽化施設の施設更新として、2園の改修（建替え）を実施。内1園を令和5年度に完了したことで目標値を達成した。なお、他方1件についても令和6年度に完了予定である。老朽化施設の更新により園児の生活環境と保育士の労働環境を改善し、園運営を安定させるとともに、地域における必要な定員数確保に貢献している。				
	施策への貢献度	今後の方針							
26	②保育士確保・定着対策 【私立保育園課】	就職相談会の実施回数（回）	就職相談会等の実施回数 《【 】内は参加者数》	目標値	4 【110】	2 【100】	2 【100】	4 【100】	8 【310】
				実績値	1 【51】	2 【63】	1 【23】	1 【49】	－
				達成率	25%	100%	50%	25%	－
				【総合評価】 （課長評価）	令和5年度においては20社が参加。49人が来場し、面接数は94回で前年比＋60回と大幅に増加した。ハローワークや参加事業者と連携して各種SNS等での周知を強化したことで、より多く、より面接意欲の高い参加者が集まったものと分析している。引き続きハローワーク・東京都と連携し、私立保育施設における保育士確保・定着を支援していく。				
	施策への貢献度	今後の方針							
27	③学童保育室の運営 【学童保育課】	学童保育室受入可能数累計（人）	区直営、運営委託（指定管理、住区センター）、民設運営（学童クラブ補助対象分）の受入可能数累計 ※令和3年度より受入可能数増分から累計へ変更	目標値	90	210	340	390	430
				実績値	120	242	392	457	－
				達成率	133%	115%	115%	117%	－
				【総合評価】 （課長評価）	「学童保育室整備計画」に基づき、令和5年度に民設学童保育室1室及び鹿浜未来小学校内に指定管理学童保育室を2室整備した結果、累計で457人の増加となった。今後は待機児童解消という区の喫緊の課題解決に向け、不足するすべての地域に対して学童保育室の整備を実施していく。				
	施策への貢献度	今後の方針							
28	④ワーク・ライフ・バランスの推進 【多様性社会推進課】	WLBを推進するため区内企業へ働きかけした件数（件）	架電・DM・訪問など働きかけした件数※10人以上、300人未満の区内企業数＝1,600社 ※令和2年度目標値450は働きかけをして興味を示す見込数	目標値	450	2,000	2,000	－	2,000
				実績値	1,889	1,864	1,877	－	－
				達成率	420%	93%	94%	－	－
				【総合評価】 （課長評価）	令和5年度は、WLBの制度見直しを実施したため、認定企業の新規募集は行わなかった。男性の子育て応援講座は、委託講座の開催数が20回上限であり、啓発内容に「性の多様性」が加わるなど講座テーマが多岐に渡ったため、ほぼ横ばいの5回にとどまった。今後もできる限り機会の場の提供と支援を行い、男性の積極的な家事・育児参加を促していく。				
	施策への貢献度	今後の方針							
28	④ワーク・ライフ・バランスの推進 【多様性社会推進課】	男性向け講座・イベントの実施回数（回）	男性向け講座・イベントの実施回数 《【 】内は参加者数》	目標値	10 【250】	10 【250】	10 【300】	10 【300】	11 【500】
				実績値	3 【30】	8 【79】	4 【52】	5 【52】	－
				達成率	30%	80%	40%	50%	－
				【総合評価】 （課長評価）	令和5年度は、WLBの制度見直しを実施したため、認定企業の新規募集は行わなかった。男性の子育て応援講座は、委託講座の開催数が20回上限であり、啓発内容に「性の多様性」が加わるなど講座テーマが多岐に渡ったため、ほぼ横ばいの5回にとどまった。今後もできる限り機会の場の提供と支援を行い、男性の積極的な家事・育児参加を促していく。				
	施策への貢献度	今後の方針							

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

施策【2-3】

1 施策の概要

担当課 こども家庭相談課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2-3 困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止
施策の方向	・児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応等を図るため、地域におけるきめ細やかな体制の充実を進めます。 ・困難を抱える子育て家庭の悩みや相談に応じ、経済的支援をはじめ、親と子どもに寄り添った様々な支援を行います。

2 成果指標

指標1	指標名	虐待対応終結率							
	定義	虐待解決数(児童相談所への送致や訪問指導により虐待を起こす要因が解消された数)÷虐待件数							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			80	80	80	80	80	目標値
	実績値		73	66	65	72	59	-	80%
指標2	達成率			83%	81%	90%	74%	-	
	指標名	高等職業訓練促進給付金受給後の正規雇用者数							
	定義	ひとり親家庭を対象とする高等職業訓練促進給付金事業を活用後、就労(正規雇用)した方の数							
	単位	人	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			15	17	10	8	8	目標値
	実績値		14	15	5	8	6	-	25人
	達成率			100%	29%	80%	75%	-	

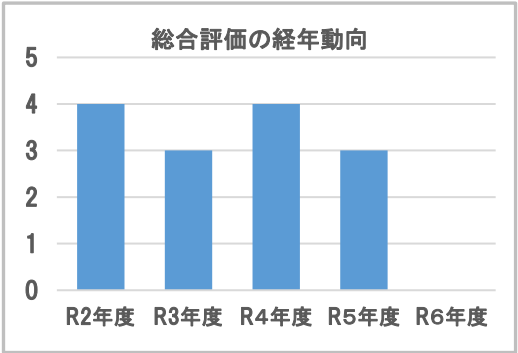
3 担当課における施策評価

施策の達成状況とその要因分析	
【指標1】虐待対応終結率は前年度比で減少傾向となっている。引き続き、児童虐待該当件数が増加傾向にあることに加え、事案内容の複雑・多様化によって長期的支援を要する案件が増加していること等が主な影響であると想定される。	
【指標2】高等職業訓練促進給付金受給者17人のうち、9人が養成校を卒業し、資格試験合格の8人は、7人が正規(うち1人は、試用期間中で6月～正規)、1人は准看護師から正看護師を目指し専門学校に進学している。残り1人はWEB関係資格の取得に向け、今後受験予定であり、目標値には達しなかった。	

【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上 ・ライフステージ間のつながりの強化
子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性
【指標1】相談件数増加および長期的支援に対応するため、引き続き虐待の未然防止や再発防止を図るとともに、適正な人員配置や育成、関係機関との役割分担・連携等を強化し、支援の効率化、家庭の養育力向上を図っていく。
【指標2】生活の安定に資する資格の取得を促進し、経済的自立につながるよう、ひとり親家庭の方への就業を支援していくとともに、ライフスタイルに合わせた就労が図られるよう、国や東京都で実施している在宅就業推進事業などの情報の周知も強化していく。

4 子ども家庭部における施策の総合評価

総合評価	3	①各事案が複雑かつ多様化し、長期的支援を要する家庭が増加していることにより、虐待対応が終結しない原因となっている。長引くことで支援する側の負担もあると思われるが、引き続き、関係機関と連携しながら、困難を抱える家庭への支援を行ってほしい。
R5年度		②正規雇用者数は目標に達しなかったものの、給付金を受給し資格試験を受け、就労しようという意識が伺える。今後も、ライフスタイルやニーズに合わせたセミナーや講座等の開催・周知により就労支援を行い、経済的自立に繋げてほしい。



施策【2-3】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

	事業名	活動指標（単位）	定義		R2	R3	R4	R5	R6
29	①きかせて子育て訪問事業【子ども政策課】	支援回数（回）	きかせてサポーターが利用者宅で支援を行った年間延べ支援回数《【 】内は利用者数》	目標値	102	120	300	210	102
					【30】	【30】	【150】	【94】	【30】
				実績値	145	283	206	145	-
					【42】	【148】	【93】	【63】	-
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】（課長評価）	達成率	142%	236%	69%	69%	-
30	②メール配信事業「新米ママパパの子育てブログ」【こども家庭相談課】	配信記事数（本）	メール配信する配信記事（ブログ調記事）の種類（数）《【 】内は登録者数》	目標値	90	90	90	90	90
					【12,000】	【13,000】	【14,000】	【15,000】	【15,000】
				実績値	94	94	94	94	-
					【12,445】	【13,543】	【14,586】	【15,627】	-
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】（課長評価）	達成率	104%	104%	104%	104%	-
31	③児童扶養手当【親子支援課】	児童扶養手当認定件数（件）	児童扶養手当認定請求に対する認定件数	目標値	854	845	836	827	820
				実績値	872	750	677	654	-
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】（課長評価）	達成率	102%	89%	81%	79%	-
32	④ひとり親家庭応援メールの配信【親子支援課】	メール配信の情報件数（件）	豆の木メールで配信した情報の件数《【 】内は登録世帯数》	目標値	220	240	240	250	300
					【2,800】	【3,200】	【3,500】	【3,500】	【3,500】
				実績値	225	207	212	210	-
					【3,094】	【3,674】	【4,093】	【4,509】	-
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】（課長評価）	達成率	102%	86%	88%	84%	-
33	⑤就労のための資格取得支援【親子支援課】	ひとり親家庭向け就労支援事業を活用した人数（人）	ひとり親家庭を対象にした就労支援給付金補助をはじめ、就労セミナー・講座等区が行う就労支援事業を活用した延べ人数	目標値	200	225	160	190	200
				実績値	150	152	194	190	-
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】（課長評価）	達成率	75%	68%	121%	100%	-
34	⑥（区民向け）児童虐待予防講座の実施【こども家庭相談課】	講座の開催回数（回）	児童虐待防止啓発事業（子育て交流講座（NP講座）、イライラしない子育て講座、講演会、オレンジリボンキャンペーン等）の実施回数《【 】内は参加者数》	目標値	12	12	12	12	13
					【120】	【120】	【120】	【100】	【164】
				実績値	7	7	11	13	-
					【71】	【72】	【91】	【139】	-
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】（課長評価）	達成率	58%	58%	92%	108%	-
35	⑦児童虐待対応【こども家庭相談課】	児童虐待受理件数（件）	こども家庭相談課における児童虐待に関する受理件数	目標値	900	1,100	1,100	1,181	1,345
				実績値	1,053	1,028	1,464	1,530	-
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】（課長評価）	達成率	117%	93%	133%	130%	-

施策への貢献度 A: 高い B: 中位 C: 低い

施策【2-4】

1 施策の概要

担当課 都市建設課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2-4 安全・安心に子育てのできる生活環境の整備
施策の方向	妊産婦、子育て家庭等、全ての人たちが安全安心に外出できるよう、ユニバーサルデザインの視点に立ったまちづくりを推進していきます。

2 成果指標

指標1	指標名	ユニバーサルデザイン推進計画の個別事業の評価点の平均値※1【子ども子育てに関係する事業】							
	定義	推進計画、「柱3 便利に生活できる『まちづくり』」のうち、施策3-(1)から3-(4)に位置付けられた一部の事業のうち、「だれもが利用しやすい施設や環境等を整備する」ための個別事業の5段階評価の評価点の平均値							
	単位	点	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			4.0	4.0	4.1	4.1	4.2	目標値
	実績値		4.1	3.88	4.22	4.44	3.75	-	4.2点
達成率			97%	106%	108%	91%	-		
※1【子ども子育てに関係する事業】 3-(1)-①安全な道路環境の整備 3-(2)-①公共建築物のユニバーサルデザインの推進 3-(3)-①区立公園等のユニバーサルデザインの推進 3-(4)-②民間建築物のユニバーサルデザインの誘導									
指標2	指標名	よく行く、または行きたい公園がある区民の割合							
	定義	世論調査で「よく行く、または行きたい公園がある」と答えた区民(18～40歳代)の割合(そう思う、どちらかといえばそう思うの合計) (算出式) A÷B A:世論調査で「よく行く、または行きたい公園がある」と答えた区民(18～40歳代)の数 B:世論調査に回答した区民(18～40歳代)の数 ※令和3年度より調査対象が20～40歳代から18～40歳代へ変更 ※令和4年度から令和6年度目標値を50%から52%へ変更							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			50	50	50	51.1	51.5	目標値
	実績値		44.3	49.8	50.3	50.7	46.8	-	52%
達成率			100%	101%	101%	92%	-		

3 担当課における施策評価

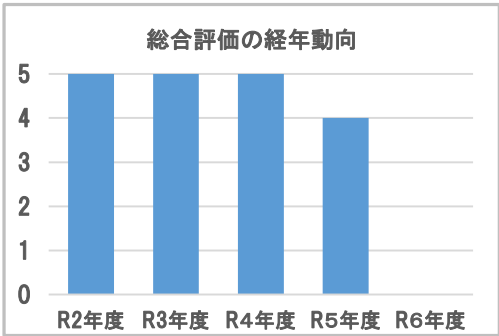
【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつなぎの強化
子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

施策の達成状況とその要因分析	
【指標1】	区のユニバーサルデザイン施策の評価・改善など進行管理をスピーディーかつ分かりやすく行うため、評価方法を変更し、対象施策を絞り集中的に評価した。今回の対象施策は、法令や基準等に基づき公共施設を整備するという当然の取組みがある中で、それ以上の発展的な取り組みがほしい点が評価に表れ、目標値を下回る3.75点となった。
【指標2】	「よく行く、またはよく行きたい公園がある」と答えた区民の割合は目標値より下回った。この回答には地域差が見られ、規模の大きい公園や特色のある公園が配置されている綾瀬、中川地区などは6割を超えているが、公園の規模が小さく公園数の少ない千住、足立地区などは4割に届かず、全体として低くなった。

【指標1】	子育て世代も安心して利用できるよう、ユニバーサルデザインの視点を持ちながら、区民の生活や生命を守る重要な公共施設の整備を進めていく。また、スピーディーかつ分かりやすい評価を行い、より効果的・効率的に推進していく。
【指標2】	他部署と連携しながら、ユニバーサルデザインや防災、公園の誘致圏の観点から、計画的に公園の整備を進めていく。公園整備前に地域や子育て世代を含めた利用者の意向を広く取り入れ、安心して利用できる公園整備を行う。

4 子ども家庭部における施策の評価

2次評価 R5年度	①ユニバーサルデザインの視点に立ち、公共施設の管理や整備を行っていることが評価に繋がっている。発展的な取り組みを求められていることから、様々な人から意見を聞き、スパイラルアップを図り、誰もが使いやすい施設の整備を行ってほしい。
4	②「児童が遊具で遊べる公園」などのテーマを設定し、特色ある公園づくりを進めていること、また遊具の日常点検により、安全に使用できることなどが区民の満足度に繋がっている。引き続き、安全安心な、魅力ある地域の公園を整備してほしい。



施策【2-4】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

36	②公園等遊具の安全対策 【東部道路公園維持課・西部道路公園維持課】		全遊具の日常点検遊具数(基)	月1回遊具点検表に基づき点検し、修繕の要・不要・経過観察の判定がなされる遊具数(点検の際に簡単なメンテナンスにより安全使用が可能となる)※令和4年度からカウントの仕方を変更	目標値	2,108	2,106	2,415	2,460	2,115
					実績値	2,108	2,106	2415	2390	－
					達成率	100%	100%	100%	97%	－
	施策への貢献度 今後の方針		【総合評価】(課長評価)	公園維持管理作業委託による施設点検と専門業者による遊具点検で、安全性を損なうE判定が無く遊具を安全に使用していただけた。引き続き安全な遊具の維持管理に努めていく。						
	A	現状維持								
37	③パークイノベーションの取り組みの推進 【パークイノベーション推進課】		改修・新設した公園数(か所)	足立区パークイノベーション推進計画に基づき、改修・新設した公園数	目標値	49	59	69	79	89
					実績値	51	55	60	69	－
					達成率	104%	93%	87%	87%	－
	施策への貢献度 今後の方針		【総合評価】(課長評価)	適正配置によるボール遊びコーナーの改修や、設置する遊具を小学生のアンケート調査で決定した公園など、公園ごとにテーマを設定し、親しみやすく、特色や個性をイメージしやすい公園整備を行った。						
	A	現状維持								
38	④あだち子育てガイドブックの普及 【子ども政策課】		あだち子育てガイドブックの配布場所数(か所)	あだち子育てガイドブックを配布する場所(子育てに関連する機関や施設の窓口等)の箇所数 《【 】内は配布冊数》	目標値	53	58	70	72	73
						[22,600]	[23,700]	[25,300]	[25,300]	[30,000]
					実績値	53	69	74	67	－
						[22,600]	[22,700]	[21,700]	[21,300]	－
			達成率	100%	119%	106%	93%	－		
			区ホームページのあだち子育てガイドブックアクセス数(回)	区ホームページのあだち子育てガイドブックへのアクセス数	目標値	3,700	3,800	3,900	4,000	4,000
					実績値	3,713	3,953	3,977	4,047	－
	達成率	100%			104%	102%	101%	－		
	施策への貢献度 今後の方針		【総合評価】(課長評価)	全庁で実施している妊娠・出産・子育てに関する情報を、子育て世代に向けて周知している。令和5年度版では、対象世帯が手に取りやすいよう、保育園に関する手続きのオンライン申請やベビーシッター支援事業などの新規事業を特集ページに掲載した。配布場所は、民間企業に設置協力を継続したが、目標達成には至らなかった。アクセス数は、ほぼ横ばいで推移している。庁内所属に限らず、子育て世代が利用する商業施設などに設置協力を行うとともに、SNSなどを活用して電子版へのアクセスにつなげていく。						
A	現状維持									

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

子ども・子育て支援法に定める 「確保方策」の進捗状況について

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

教育・保育

【教育】

単位:人

		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度	
		1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号
計画	量の見込み	5,542	2,005	5,408	1,963	5,265	1,908	5,121	1,859	4,979	1,807
	確保方策	8,871	1,955	8,871	1,955	8,871	1,955	8,871	1,955	8,871	1,955
実績	確保方策	8,871	2,207	9,077	1,681	8,482	1,636	7,745	1,634	0	0
	【参考】利用実績	5,713	2,176	5,805	1,611	5,038	1,602	4,464	1,559	0	0
達成率		100%	113%	102%	86%	96%	84%	87%	84%	0%	0%

【保育】

単位:人

			R2年度			R3年度			R4年度			R5年度			R6年度		
			2号 保育	3号 1.2歳	3号 0歳	2号 保育	3号 1.2歳	3号 0歳	2号 保育	3号 1.2歳	3号 0歳	2号 保育	3号 1.2歳	3号 0歳	2号 保育	3号 1.2歳	3号 0歳
千住地域	計画	量の見込み	1,185	826	129	1,156	791	127	1,102	768	126	1,060	762	125	1,029	755	124
		確保方策	1,255	842	233	1,255	855	239	1,255	855	239	1,255	855	239	1,255	855	239
	実績	確保方策	1,255	859	220	1,255	838	227	1,249	838	225	1,095	783	204	0	0	0
		【参考】利用実績	994	688	148	961	654	136	915	657	127	902	649	101	0	0	0
		達成率	100%	102%	94%	100%	98%	95%	100%	98%	94%	87%	92%	85%	0%	0%	0%
綾瀬・佐野地域	計画	量の見込み	1,514	1,097	242	1,479	1,071	234	1,445	1,040	232	1,413	1,019	225	1,375	1,003	220
		確保方策	1,804	1,162	310	1,804	1,162	310	1,804	1,162	310	1,804	1,162	310	1,804	1,162	310
	実績	確保方策	1,794	1,159	309	1,780	1,160	302	1,783	1,154	302	1,733	1,157	300	0	0	0
		【参考】利用実績	1,428	1,088	210	1,423	1,046	226	1,484	1,031	217	1,434	1,080	178	0	0	0
		達成率	99%	100%	100%	99%	100%	97%	99%	99%	97%	96%	100%	97%	0%	0%	0%
梅田・中央本町地域	計画	量の見込み	1,354	962	209	1,324	938	204	1,294	911	199	1,260	891	197	1,228	876	194
		確保方策	1,645	1,102	301	1,645	1,102	301	1,645	1,102	301	1,645	1,102	301	1,645	1,102	301
	実績	確保方策	1,640	1,106	287	1,640	1,091	285	1,640	1,083	285	1,596	1,071	278	0	0	0
		【参考】利用実績	1,421	1,012	228	1,398	973	199	1,389	1,001	202	1,377	973	167	0	0	0
		達成率	100%	100%	95%	100%	99%	95%	100%	98%	95%	97%	97%	92%	0%	0%	0%
竹の塚・六町地域	計画	量の見込み	1,758	1,285	273	1,713	1,249	264	1,673	1,211	259	1,628	1,179	254	1,581	1,158	250
		確保方策	2,137	1,487	352	2,137	1,487	352	2,137	1,487	352	2,137	1,487	352	2,137	1,487	352
	実績	確保方策	2,128	1,448	325	2,098	1,426	340	2,098	1,419	340	2,074	1,400	342	0	0	0
		【参考】利用実績	1,793	1,287	214	1,868	1,285	256	1,876	1,281	237	1,895	1,320	273	0	0	0
		達成率	100%	97%	92%	98%	96%	97%	98%	95%	97%	97%	94%	97%	0%	0%	0%
江北・鹿浜・舎人地域	計画	量の見込み	1,568	1,131	205	1,541	1,101	198	1,498	1,066	196	1,457	1,042	190	1,413	1,024	188
		確保方策	1,947	1,247	287	1,947	1,247	287	1,947	1,247	287	1,947	1,247	287	1,947	1,247	287
	実績	確保方策	1,944	1,269	282	1,946	1,249	282	1,943	1,236	281	1,891	1,212	264	0	0	0
		【参考】利用実績	1,573	1,121	229	1,630	1,164	213	1,651	1,140	219	1,658	1,131	219	0	0	0
		達成率	100%	102%	98%	100%	100%	98%	100%	99%	98%	97%	97%	92%	0%	0%	0%
新田地域	計画	量の見込み	247	203	29	231	199	28	224	196	28	219	192	28	214	190	27
		確保方策	307	216	57	307	216	57	307	216	57	307	216	57	307	216	57
	実績	確保方策	304	206	44	274	192	44	273	187	37	273	187	37	0	0	0
		【参考】利用実績	254	184	33	229	187	26	217	172	25	236	163	25	0	0	0
		達成率	99%	95%	77%	89%	89%	77%	89%	87%	65%	89%	87%	65%	0%	0%	0%
区全域	計画	量の見込み	7,626	5,504	1,087	7,445	5,349	1,055	7,236	5,192	1,040	7,037	5,084	1,019	6,839	5,005	1,003
		確保方策	9,095	6,056	1,540	9,095	6,069	1,546	9,095	6,069	1,546	9,095	6,069	1,546	9,095	6,069	1,546
	実績	確保方策	9,065	6,047	1,467	8,993	5,956	1,480	8,986	5,917	1,470	8,662	5,810	1,425	0	0	0
		【参考】利用実績	7,463	5,380	1,062	7,509	5,309	1,056	7,532	5,282	1,027	7,502	5,316	963	0	0	0
		達成率	100%	100%	95%	99%	98%	96%	99%	97%	95%	95%	96%	92%	0%	0%	0%

達成率・・・実績 確保方策÷計画 確保方策（小数点以下四捨五入）

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

地域子ども・子育て支援事業

【放課後児童健全育成事業(学童保育室)】

単位:人

			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
千住地域	計画	量の見込み	889	912	930	928	913
		確保方策	889	912	930	928	913
	実績	確保方策	889	912	930	928	0
		【参考】利用実績	681	782	787	892	0
		達成率	100%	100%	100%	100%	0%
綾瀬・佐野地域	計画	量の見込み	748	746	740	730	714
		確保方策	909	939	989	989	989
	実績	確保方策	909	939	989	989	0
		【参考】利用実績	1,120	1,287	1,320	1,352	0
		達成率	100%	100%	100%	100%	0%
梅田・中央本町地域	計画	量の見込み	1,081	1,080	1,064	1,054	1,034
		確保方策	1,081	1,080	1,064	1,054	1,034
	実績	確保方策	1,081	1,080	1,064	1,054	0
		【参考】利用実績	976	1,060	1,088	1,116	0
		達成率	100%	100%	100%	100%	0%
竹の塚・六町地域	計画	量の見込み	1,708	1,681	1,633	1,590	1,552
		確保方策	1,708	1,681	1,633	1,590	1,552
	実績	確保方策	1,708	1,681	1,633	1,590	0
		【参考】利用実績	1,624	1,803	1,810	1,894	0
		達成率	100%	100%	100%	100%	0%
江北・鹿浜・舎人地域	計画	量の見込み	1,150	1,139	1,120	1,107	1,092
		確保方策	1,150	1,139	1,120	1,146	1,176
	実績	確保方策	1,150	1,139	1,172	1,199	0
		【参考】利用実績	1,244	1,355	1,401	1,497	0
		達成率	100%	100%	105%	105%	0%
新田地域	計画	量の見込み	263	235	211	190	176
		確保方策	346	346	346	346	346
	実績	確保方策	346	346	346	291	0
		【参考】利用実績	292	262	259	266	0
		達成率	100%	100%	100%	84%	0%
区全域	計画	量の見込み	5,839	5,793	5,698	5,599	5,481
		確保方策	6,083	6,097	6,082	6,053	6,010
	実績	確保方策	6,083	6,097	6,134	6,051	0
		【参考】利用実績	5,937	6,549	6,665	7,017	0
		達成率	100%	100%	101%	100%	0%

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

【子育てサロン事業】

単位:人回/年

			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
千住地域	計画	量の見込み	62,939	60,990	59,612	59,040	58,570
		確保方策	64,834	64,834	64,834	64,834	64,834
	実績	確保方策	64,834	64,834	64,834	64,834	0
		【参考】利用実績	24,472	22,826	45,068	56,151	0
		達成率	100%	100%	100%	100%	0%
綾瀬・佐野地域	計画	量の見込み	55,042	53,492	52,364	51,175	50,257
		確保方策	61,234	61,234	61,234	61,234	61,234
	実績	確保方策	61,234	61,234	61,234	61,234	0
		【参考】利用実績	17,636	17,108	36,279	44,832	0
		達成率	100%	100%	100%	100%	0%
梅田・中央本町地域	計画	量の見込み	46,141	44,909	43,756	42,873	42,201
		確保方策	76,700	76,700	76,700	76,700	76,700
	実績	確保方策	76,700	76,700	76,700	76,700	0
		【参考】利用実績	11,767	12,370	26,178	29,678	0
		達成率	100%	100%	100%	100%	0%
竹の塚・六町地域	計画	量の見込み	66,683	64,640	62,919	61,430	60,372
		確保方策	164,128	164,128	164,128	164,128	164,128
	実績	確保方策	164,128	164,128	164,128	154,237	0
		【参考】利用実績	38,441	44,282	101,318	125,459	0
		達成率	100%	100%	100%	94%	0%
江北・鹿浜・舎人地域	計画	量の見込み	41,412	40,114	39,179	38,206	37,596
		確保方策	73,367	73,367	73,367	79,749	79,749
	実績	確保方策	73,367	73,367	73,367	75,186	0
		【参考】利用実績	10,862	12,639	30,301	35,160	0
		達成率	100%	100%	100%	94%	0%
新田地域	計画	量の見込み	13,546	13,243	13,032	12,851	12,762
		確保方策	28,794	28,794	28,794	28,794	28,794
	実績	確保方策	28,794	28,794	28,794	28,794	0
		【参考】利用実績	5,909	6,293	9,859	11,696	0
		達成率	100%	100%	100%	100%	0%
区全域	計画	量の見込み	285,763	277,388	270,862	265,575	261,758
		確保方策	469,057	469,057	469,057	475,439	475,439
	実績	確保方策	469,057	469,057	469,057	460,985	0
		【参考】利用実績	109,087	115,518	249,003	302,976	0
		達成率	100%	100%	100%	97%	0%

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

【平日の定期的な延長保育事業】

単位：人

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計 画	千住地域(21時まで)	485	472	455	444	436
	綾瀬・佐野地域(21時まで)	616	601	589	576	562
	梅田・中央本町地域(21時まで)	617	602	587	574	561
	竹の塚・六町地域(21時まで)	557	543	529	516	504
	江北・鹿浜・舎人地域(21時まで)	489	476	463	453	442
	新田地域(21時まで)	117	110	109	107	104
	21時以降区全域	386	374	365	355	346
	量の見込み【区全域】	3,267	3,178	3,097	3,025	2,955
	千住地域	2,073	2,073	2,073	2,073	2,073
	綾瀬・佐野地域	2,802	2,802	2,802	2,802	2,802
	梅田・中央本町地	2,552	2,552	2,552	2,552	2,552
	竹の塚・六町地域	2,916	2,916	2,916	2,916	2,916
	江北・鹿浜・舎人地域	2,890	2,890	2,890	2,890	2,890
	新田地域	449	449	449	449	449
	確保方策【区全域】	13,682	13,682	13,682	13,682	13,682
実 績	千住地域	2,073	2,028	1,999	1,999	0
	綾瀬・佐野地域	2,802	2,778	2,762	2,762	0
	梅田・中央本町地	2,552	2,542	2,445	2,445	0
	竹の塚・六町地域	2,931	2,848	2,819	2,819	0
	江北・鹿浜・舎人地域	2,886	2,854	2,870	2,870	0
	新田地域	449	439	395	395	0
	確保方策【区全域】	13,693	13,489	13,290	13,290	0
	千住地域	400	508	543	606	0
	綾瀬・佐野地域	640	704	803	623	0
	梅田・中央本町地	590	630	687	678	0
	竹の塚・六町地域	819	787	941	807	0
	江北・鹿浜・舎人地域	693	770	737	676	0
	新田地域	164	162	170	144	0
	【参考】利用実績【区全域】	3,306	3,561	3,881	3,534	0
達成率		100%	99%	97%	97%	0%

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

【【幼稚園在園児】一時預かり等の利用】

単位:人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	381,536	372,694	362,878	353,066	343,071
	確保方策	491,953	491,953	491,953	491,953	491,953
実績	確保方策	456,895	361,853	344,504	321,195	0
	【参考】利用実績	352,811	300,221	255,113	288,417	0
達成率		93%	74%	70%	65%	0%

【【幼稚園在園児を除く】不定期の一時預かり等の利用】

単位:人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	29,841	28,956	28,269	27,619	27,156
	確保方策	53,142	50,421	47,438	44,679	42,730
実績	確保方策	42,654	41,266	39,644	37,473	0
	【参考】利用実績	20,025	22,226	24,305	24,242	0
達成率		80%	82%	84%	84%	0%

【こどもショートステイ事業(在宅型・施設型)】

単位:人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	2,933	2,858	2,790	2,725	2,664
	確保方策	2,936	2,936	2,936	2,936	2,936
実績	確保方策	2,928	2,928	2,920	2,912	0
	【参考】利用実績	1,903	2,219	2,570	2,720	0
達成率		100%	100%	99%	99%	0%

【ファミリー・サポート・センター事業／子ども預かり・送迎支援事業(小学生)】

単位:人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	7,830	7,124	6,505	5,963	5,485
	確保方策	20,697	18,984	17,467	16,077	14,817
実績	確保方策	15,434	13,354	12,431	12,010	0
	【参考】利用実績	5,843	7,878	7,053	7,377	0
達成率		75%	70%	71%	75%	0%

【病気の際の対応】

単位:人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	2,859	2,783	2,713	2,647	2,590
	確保方策	3,266	3,266	3,266	3,266	3,266
実績	確保方策	2,946	3,262	3,245	3,230	0
	【参考】利用実績	141	326	328	343	0
達成率		90%	100%	99%	99%	0%

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

【養育支援訪問事業及び要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業】

(ア) 養育支援訪問事業

単位: 人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	842	898	959	1029	1091
	確保方策	○引き続き、「預かり・送迎支援」及び「育児・家事支援」の訪問事業を、NPO法人への委託により支援の量を確保し、支援が必要な家庭に対する相談・支援を進めていきます。				
実績	【参考】利用実績	421	1,033	898	651	0

(イ) 要保護児童対策地域協議会の開催

(ウ) 児童虐待予防講座等の実施

単位: 回

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み					
	要保護児童対策地域協議会の開催	271	290	310	332	355
	児童虐待予防講座等の実施	13	13	13	13	13
	確保方策	○既に子ども施設入園課窓口での相談や子育てサロン等での出張相談の体制を構築しています。 ○今後も引き続き実施し、より適切で的確な保育サービス、子育てサービス等の選択、利用につながるよう支援していきます。 ○保健予防課と各保健センター等での「あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト(ASMAP)」において、妊娠届出書の内容から支援が必要な妊婦を把握し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を今後も引き続き、行っています。 ○関係機関と連携することで育児不安や生活上の困難な状況も改善していきます。				
実績	【参考】利用実績	275	268	293	297	0

【乳児家庭全戸訪問事業】

単位: 人

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	4,300	4,100	4,100	4,000	3,900
	確保方策	○実施体制: 委託訪問指導員・保健師が自宅訪問 ○案内: 訪問連絡票を母子健康手帳に綴じ込み、チラシと一緒に配布しています。訪問連絡票未提出者には電話や通知で勧奨を行い、今後も引き続き、訪問率向上に努めていきます。				
実績	【参考】利用実績	3,558	3,626	3,562	3,936	0

【妊婦に対して健康診査を実施する事業】

単位: 人回/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	66,900	64,800	64,000	62,700	61,800
	確保方策	○実施場所: 都内委託医療機関、里帰り等助成(都外医療機関・助産所) ○検査項目・実施回数: 妊婦健診全14回/超音波検査2回/子宮頸がん検診1回 ○案内: 妊娠届出及び妊婦訪問時に妊婦健診の受診勧奨を、今後も引き続き実施していきます。				
実績	【参考】利用実績	53,219	51,935	50,301	48,634	0

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

【利用者支援に関する事業】

単位:か所

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み					
	基本型・特定型	1	1	1	1	1
	母子保健型	6	6	6	6	6
	確保方策	○既に子ども施設入園課窓口での相談や子育てサロン等での出張相談の体制を構築しています。 ○今後も引き続き実施し、より適切で的確な保育サービス、子育てサービス等の選択、利用につながるよう支援していきます。 ○保健予防課と各保健センター等での「あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト(ASMAP)」において、妊娠届出書の内容から支援が必要な妊婦を把握し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を今後も引き続き、行っていきます。 ○関係機関と連携することで育児不安や生活上の困難な状況も改善していきます。				
実績	【参考】利用実績	7	7	7	7	0

【実費徴収に係る補足給付を行う事業】

単位:人

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	1,129	1,102	1,073	1,043	1,014
	確保方策	○幼稚園等に在園する児童の保護者が、園に対して支払うべき給食費・教材費等の実費の一部について、低所得世帯・多子世帯を対象として補助します。				
実績	【参考】利用実績	1,319	1,310	1,191	836	0